

2013年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	電気通信工学科							
科目名	電子回路 I 演習							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年前期			
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース) / 必修科目(電気エネルギーコース) / 必修科目(情報システムコース)							
担当者	江崎 秀							
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・オームの法則、キルヒホッフの法則を用いた回路解析ができる。(A7) ・バイポーラトランジスタ(BPT)固定バイアス増幅回路の設計指針を理解し、解析できる。(A7,B3) ・BPT電流帰還バイアス増幅回路の設計指針を理解し、負荷直線を用いて解析できる。(B3) ・BPTを小信号等価回路で表現でき、hパラメータによる回路解析ができる。(A7,B3) ・小信号等価回路表現による電流・電圧・電力増幅度の計算ができる。(B3) 							
内容	4/10 電子回路とは・電気回路復習 4/17 半導体・ダイオード 4/24 整流回路 5/1 トランジスタの基本 5/8 固定バイアス回路 5/15 固定バイアス増幅回路 5/22 回路復習と電流帰還バイアス回路 5/29 増幅回路と交直分離と負荷直線 6/5 負荷直線と最適動作点 6/12 臨時試験向け演習 6/19 臨時試験① 6/26 交流成分とhパラメータ 7/3 電流・電圧・電力増幅度 7/10 総合演習① 7/17 総合演習② 7/24 定期試験							
成績評価基準	定期試験	20%	実技					0%
	臨時試験	10%	部外評価					0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション					0%
	課題	10%						
	演習	60%	計					100%
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・オームの法則、キルヒホッフの法則を用いた回路解析ができる: 達成できた ・バイポーラトランジスタ(BPT)固定バイアス増幅回路の設計指針を理解し、解析できる: 達成できた ・BPT電流帰還バイアス増幅回路の設計指針を理解し、負荷直線を用いて解析できる: 達成できた ・BPTを小信号等価回路で表現でき、hパラメータによる回路解析ができる: 達成できた ・小信号等価回路表現による電流・電圧・電力増幅度の計算ができる: 達成できた 							
反省点	昨年度に引き続き、①座席を出席簿順とした。②演習中心の授業とし、解説は1時間目、2時間目の本授業は学生自身に解答させた。昨年よりやや合格率は向上したが、学期中の小テストの得点が低く定期試験で挽回出来なかった学生がかなりいる。さらに学期中の自己学習をさせる工夫が必要である。							
来年度の計画	来年度も、学期中に自己学習をさせる工夫を考える。							
授業評価アンケートに対するコメント	10点総合評価で平均8.4点は昨年度より-0.2点だが、特に問題ない。しかし、残念ながら成績には結び付いていない。今年度は自由記述アンケートの早期実施ができなかった。来年度は実施したい。							
履修登録者数	62名	定期試験 受験者数	53名	合格者数	35名	合格率	66%	